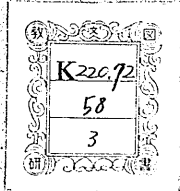


日高先生書中等習字帖

下

220.72



K220.72

58

3

需要供給經濟原則

資本基礎資格屋號

2頁 欠

障  
碍  
排  
除  
危  
險  
遭  
難

警  
戒  
覺  
悟  
應  
援  
義  
捐

品性嗜好高尚優美

溫厚篤實質素勤儉

博聞強記識見精通

沈着穩當嚴肅粗暴

機敏迂濶熱心冷淡

輕薄卑劣柔弱怠惰

7頁

）

9頁 欠



体神见舞依轻

结捧顶戴上端

11頁欠

返者重叔持象

通知傳聲象

親履直披苦節

執事坐右侍史

徳仰誠の極おほま大體に

於て至極言ふ由のは計らひ

とは存心して他の

法者にも相法を

その上にて破たるは

音の上よりとに致し後

春暖古徳一の爰は取田の徳也  
あつてもれずの也。あつてもれずの

沙汰の又移し中諱は座なると也。  
さて小生も中を度前紙廣告の



通う信おの念も新巻の首  
おねめまゝの言葉染ぬる首

おねめまゝの言葉染ぬる首  
おねめまゝの言葉染ぬる首

守れなれは上けの海産のは枝  
高きは依頼までけの女にたまふ。

糸巻のきまむねそのはのく  
はあしやとけなりのまゝにた

是を全叶はせられずは折る  
あはれいしむれは捨つる

なごらぬかみゆきは熱心  
侍もたごのしはあつた

其の故を問ふに其の言は難し  
其の言は難し其の言は難し

其の言は難し其の言は難し  
其の言は難し其の言は難し

やう祈う今中。唯の法男を様  
は出生なされゆもし。大業を極

家内一同は祝ひ上。この品  
類を承りて。法年を奉りて印し

吾々も上は世に笑袖たれども。  
結構なるは品浄山

古里とたれあがらる相交  
休小まの期向ひりてく

やうは約束の上におきかゝるは  
実法親戚と病人生業何れも

系上侍難く相成るる意し  
かゝる世名下は女中のおもひ

中宗。先朝の遺徳を  
承けしむるは、  
先朝の遺徳を承けしむるは、  
先朝の遺徳を承けしむるは、

海と先達。先朝の遺徳を承けしむるは、  
先朝の遺徳を承けしむるは、  
先朝の遺徳を承けしむるは、



履歷書

原籍 千葉縣香取郡倉山村字倉山五番地  
現住所 東京市小石川區小日向水道町丁目六番地  
町田方  
戶主平民春造長男

山村 芝吉

明治貳拾七年三月七日生

學業

一 明治三十三年四月千葉縣香取郡倉山村倉山尋常  
小學校入學  
一 明治三十九年三月右同校第六年級修了

履歷書

原籍 千葉縣香取郡倉山村字倉山五番地  
現住所 東京市小石川區小日向水道町丁具番地

町田方

戶主平民春造長男

山村芝吉

明治貳拾七年三月七日生

學業

一 明治三十三年四月千葉縣香取郡倉山村倉山尋常小學校ニ入學

一 明治三十九年三月右同校第六年級修了

一 同年四月東京府立第四中學校ニ入學

一 明治四十四年三月右同校卒業

賞罰

一 明治三十七年三月三十一日一學年間全出席ニ付キ

賞狀並ニ賞品ヲ授與セララル 無缺席ニ付キ

一 明治三十九年三月三十日成績優等ニ付キ賞品ヲ

授與セララル

一 罰ヲ受ケタルコトナシ

右之通り相違無之候也

右

山村芝吉

印

明治四十四年六月三十日

お啓

は留右後一向に直使り

なくいままは清光を頼り

かとは業じりあげん

お感

は留右後一向に直便り

なくいまは清光さまれい

かとは業じ中あけ免に

見え萍状認めんと致し

片の交へ山川志も端量

余り初めて大先のは痛業此

ふるとまむ致し家さまか

中い本屋の特は業業知て

達者たさるものともはな

閑口致し片のくことなれと

正まはま丈夫も病のは経誌

なすはさるをも一層は難

像のさ事と花び上げの

余り初めて大見の日は痛く業化  
りてと道志致し家もまじ  
中本原の特上呉業知りて  
違ふたはるものもも何れ  
閑口致し居る所こもなれと  
ふま業又夫も痛のは経臨  
なまは方とをも一層は難  
像のふ事と存し上げ小  
精と出る養生なまれ及  
切望せ

小生と先日一日君とあつたの  
ふ業味もすす可う作業  
致し小ひのふ業もは致し  
昨今のは業知の游泳場ふ  
あひ欠うたはよふ業もは  
ふ業も中休暇も半以上  
過きて業学校の始まるも  
業こらうたるこももまは  
をねるもまをまははははは

致しつひにこのお早に書致し  
昨今のはまの遊泳場は  
あの穴にうたがよふ家もあ  
な早も中休暇も半以上  
過ぎて奥の校の始まるも  
幸いうらやむことなまは  
そんねるまをすまふはまは  
お成りて九月十六日の健

康なるは顔に接し  
滑らまやう祈りあり中  
先ははるん舞までそま

八月廿五日

松本正太郎

市島山仁之助様  
付書

72207

# 明治壬子春日書 釋谿居士日高秩父



明治四十五年三月廿八日印刷  
明治四十五年七月二日訂正印刷  
明治四十五年七月五日發行  
大正元年十一月十三日寫真縮刷  
明治四十五年三月卅一日發行  
明治四十五年七月五日發行  
大正元年十一月廿二日發行

日高先生中等數字帖小影英團  
定價  
上等 金銀  
中 金銀  
下 金銀  
電話 五〇  
郵政 五〇  
掛號 五〇

校閱者 岡田正美  
書者 日高秩父  
編者 書道振興會  
代表者 七條愷

發行者 七條愷  
印刷者 青木貞太郎  
印刷所 金蘭版印刷合資會社

發行所 東京市神田區佐久間町一丁目一番地  
東京市銀座三丁目二番地  
東京市日本橋區本町三丁目二番地  
振替東京二〇五五番 電話本局二二〇〇番  
西東書房  
特約一手賣捌所

文部省檢定  
大正九年二月十五日

